

腎症抑制を目指したこれからの糖尿病治療

日時

1 2022年1月26日(水) 12:30 ~13:00

2 2022年1月26日(水) 13:15 ~13:45

演者

大阪医科薬科大学 腎臓内科 教授 (特別職務担当教員)

美馬 晶 先生

抄録

糖尿病治療において、将来の血管合併症の予防、進展阻止が重要であり、そのためには、早期発見と早期治療が重要である。尿中アルブミンの測定は、糖尿病性腎症の早期発見に有用であるが、我が国においては、まだまだ十分に測定されているとは言えない。一方で、国内外のガイドラインにおいて、心腎イベントリスクを考慮した糖尿病治療薬の選択が推奨されつつある。本日は、糖尿病性腎症など将来の血管合併症予防を見据えて、早期からどのような糖尿病治療を行っていくべきなのか、SGLT2阻害薬を中心にお話したい。

2型糖尿病患者さんにジャディアンスの処方を検討するのは、糖尿病性腎症の臨床経過のうちどのタイミングですか？

※使用においては、添付文書に記載の範囲内とする

- ① 第1期 (腎症前期)
- ② 第2期 (早期腎症期)
- ③ 第3期 (顕性腎症期)
- ④ その他

URL

QRコードからご視聴ください。

